



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 株式会社きんでん

上場取引所 東

コード番号 1944 URL <https://www.kinden.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 上坂 隆勇

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 飛鷹 亨

TEL 06-6375-6000

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	375,198	1.2	19,859	19.6	21,805	15.8	14,726	23.9
2021年3月期第3四半期	370,664	3.4	24,713	0.5	25,883	3.4	19,340	1.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 13,445百万円 ( 53.0%) 2021年3月期第3四半期 28,581百万円 ( 3.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	71.85	
2021年3月期第3四半期	93.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	650,774	499,171	76.6
2021年3月期	683,022	493,209	72.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 498,269百万円 2021年3月期 492,056百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		16.00		19.00	35.00
2022年3月期		17.50			
2022年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	548,000	1.5	36,600	14.8	38,700	13.6	26,300	18.7	128.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	205,141,080 株	2021年3月期	205,141,080 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	195,940 株	2021年3月期	194,412 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	204,946,096 株	2021年3月期3Q	207,355,216 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	475,000	△2.4	32,000	△14.7	36,000	△13.3	25,000	△19.5	121.98

(注)直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書 (第3四半期連結累計期間) .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書 (第3四半期連結累計期間) .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	P. 8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	P. 8
(会計方針の変更) .....	P. 8
(追加情報) .....	P. 9
3. (参考) 個別財務諸表 .....	P. 10
(1) 四半期個別貸借対照表 .....	P. 10
(2) 四半期個別損益計算書 (第3四半期累計期間) .....	P. 12
4. (参考) 個別業績の概要 .....	P. 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、

完成工事高	3,751億9千8百万円	(前年同期比 1.2%増)
営業利益	198億5千9百万円	(前年同期比 19.6%減)
経常利益	218億5百万円	(前年同期比 15.8%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	147億2千6百万円	(前年同期比 23.9%減)

となりました。完成工事高は前年同期実績を上回りましたが、各利益は前年同期実績を下回りました。

個別業績につきましては、

完成工事高	3,285億5千1百万円	(前年同期比 0.3%増)
営業利益	194億2千4百万円	(前年同期比 13.2%減)
経常利益	232億5千6百万円	(前年同期比 9.4%減)
四半期純利益	168億6千5百万円	(前年同期比 15.3%減)

となりました。完成工事高は前年同期実績を上回りましたが、各利益は前年同期実績を下回りました。

#### (個別の完成工事高)

完成工事高は、前年同期より8億7千9百万円増加し、3,285億5千1百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

得意先別は、関西電力㈱(関西電力送配電㈱を含む)が前年同期より9億1千万円増加し521億6千万円(前年同期比1.8%増)、関西電力グループが前年同期より42億7千8百万円増加し161億7千4百万円(前年同期比36.0%増)となり、一般得意先は前年同期より43億8百万円減少し2,602億1千5百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

工事種別は、配電工事が前年同期より15億9千6百万円増加し468億1千9百万円(前年同期比3.5%増)、一般電気工事が前年同期より1億1千5百万円減少し2,038億2千8百万円(前年同期比0.1%減)、情報通信工事が前年同期より19億6千万円増加し354億9千3百万円(前年同期比5.8%増)、環境関連工事が前年同期より8億8千4百万円減少し245億3千2百万円(前年同期比3.5%減)、電力その他工事が前年同期より16億7千6百万円減少し178億7千6百万円(前年同期比8.6%減)となりました。配電工事の増加の主な要因は、関西電力送配電㈱の工事量が増加したこと、一般電気工事がほぼ同水準となった主な要因は、商業・娯楽施設や保健・医療施設、工場等が減少したものの事務所ビルや物流施設等が増加したこと、情報通信工事の増加の主な要因は、携帯電話関連等が増加したこと、環境関連工事の減少の主な要因は、事務所ビル等が増加したものの商業・娯楽施設や保健・医療施設等が減少したこと、電力その他工事の減少の主な要因は、地中送電工事等が減少したことによります。

#### (個別の受注工事高)

受注工事高は前年同期より297億4千2百万円増加し4,124億6千4百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

得意先別は、関西電力㈱(関西電力送配電㈱を含む)が前年同期より35億5千3百万円増加し550億3千5百万円(前年同期比6.9%増)、関西電力グループが前年同期より37億3千9百万円増加し175億2千7百万円(前年同期比27.1%増)となり、一般得意先は前年同期より224億4千9百万円増加し3,399億1百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

工事種別は、配電工事が前年同期より40億2千8百万円増加し507億9千7百万円(前年同期比8.6%増)、一般電気工事が前年同期より146億2千8百万円増加し2,611億6千4百万円(前年同期比5.9%増)、情報通信工事が前年同期より47億1千8百万円増加し478億6千4百万円(前年同期比10.9%増)、環境関連工事が前年同期より81億6千3百万円増加し365億9千9百万円(前年同期比28.7%増)、電力その他工事が前年同期より17億9千6百万円減少し160億3千7百万円(前年同期比10.1%減)となりました。配電工事の増加の主な要因は、関西電力送配電㈱の工事量が増加したこと、一般電気工事の増加の主な要因は、商業・娯楽施設や物流施設等が減少したものの事務所ビルや保健・医療施設、教育・文化施設等が増加したこと、情報通信工事の増加の主な要因は、携帯電話関連やCATV設備等が増加したこと、環境関連工事の増加の主な要因は、商業・娯楽施設や物流施設等が増加したこと、電力その他工事の減少の主な要因は、地中送電工事等が減少したことによります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ447億5千万円減少し、3,894億7千9百万円(前年度末比10.3%減)となりました。減少の主なものは、受取手形・完成工事未収入金等で、売上債権の回収が順調に進んだことが要因です。手元資金(現金及び現金同等物)は、97億5千6百万円減少し、1,593億8千9百万円となりました。手元資金の減少は、仕入債務や税金、配当金の支払い等が売上債権の回収等を上回ったことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ125億1百万円増加し、2,612億9千5百万円(前年度末比5.0%増)となりました。有形固定資産は、4億7千5百万円増加し、991億3千7百万円となりました。新規取得及び除売却に特に大きなものはありません。投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ78億8百万円増加し、1,530億2千4百万円となりました。長期預け金の増加が主な要因です。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ322億4千8百万円減少し、6,507億7千4百万円(前年度末比4.7%減)となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ380億6千9百万円減少し、1,241億5千5百万円(前年度末比23.5%減)となりました。減少の主な要因は、材料費等の仕入債務の支払いが進んだことによる支払手形・工事未払金等の減少と法人税等の支払いによる未払法人税等の減少によります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ1億4千1百万円減少し、274億4千6百万円(前年度末比0.5%減)となりました。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ382億1千万円減少し、1,516億2百万円(前年度末比20.1%減)となりました。

(純資産)

株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加、株主配当による減少等の結果、前連結会計年度末と比べ72億4千3百万円増加し、4,562億8千万円となりました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定等が増加したもののその他有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末と比べ10億2千9百万円減少し、419億8千9百万円となりました。

また、非支配株主持分は9億1百万円となりました。

これらの結果、純資産は、前連結会計年度末に比べ59億6千2百万円増加し、4,991億7千1百万円(前年度末比1.2%増)となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末より4.6ポイント上昇し、76.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、現時点ではほぼ計画通り推移しており、2021年4月28日に発表しました予想に変更はありません。なお、当期の個別受注工事高予想につきましては、2021年4月28日の発表値4,900億円を5,200億円に修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	42,422	41,109
受取手形・完成工事未収入金等	208,982	170,729
有価証券	136,409	127,604
未成工事支出金	18,012	32,144
材料貯蔵品	2,440	2,237
預け金	20,000	10,000
その他	6,949	6,919
貸倒引当金	△987	△1,265
流動資産合計	434,229	389,479
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	96,597	97,672
機械・運搬具	40,596	41,908
工具器具・備品	11,730	12,050
土地	58,109	58,184
建設仮勘定	180	897
減価償却累計額	△108,553	△111,575
有形固定資産合計	98,662	99,137
無形固定資産		
無形固定資産	4,915	9,132
投資その他の資産		
投資有価証券	133,796	130,875
長期預け金	—	10,000
退職給付に係る資産	5,711	6,304
繰延税金資産	992	1,176
その他	5,582	5,509
貸倒引当金	△866	△842
投資その他の資産合計	145,215	153,024
固定資産合計	248,793	261,295
資産合計	683,022	650,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	73,889	54,477
短期借入金	16,589	17,161
未払法人税等	11,638	5,825
未成工事受入金	16,694	21,602
工事損失引当金	1,483	2,055
完成工事補償引当金	567	610
役員賞与引当金	207	—
その他	41,155	22,422
流動負債合計	162,225	124,155
固定負債		
長期借入金	59	59
繰延税金負債	6,887	5,862
役員退職慰労引当金	224	221
退職給付に係る負債	20,167	21,055
その他	249	248
固定負債合計	27,588	27,446
負債合計	189,813	151,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,411	26,411
資本剰余金	29,147	29,147
利益剰余金	393,785	401,031
自己株式	△307	△310
株主資本合計	449,037	456,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,914	40,666
為替換算調整勘定	△1,351	△383
退職給付に係る調整累計額	1,456	1,705
その他の包括利益累計額合計	43,018	41,989
非支配株主持分	1,152	901
純資産合計	493,209	499,171
負債純資産合計	683,022	650,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
完成工事高	370,664	375,198
完成工事原価	304,803	312,470
完成工事総利益	65,860	62,727
販売費及び一般管理費	41,147	42,867
営業利益	24,713	19,859
営業外収益		
受取利息	173	148
受取配当金	1,588	1,681
その他	470	623
営業外収益合計	2,232	2,453
営業外費用		
支払利息	152	115
撤去費用	92	134
その他	817	258
営業外費用合計	1,062	508
経常利益	25,883	21,805
特別利益		
投資有価証券売却益	2,724	659
その他	4	45
特別利益合計	2,728	705
特別損失		
固定資産除却損	41	43
投資有価証券評価損	11	26
その他	21	25
特別損失合計	74	95
税金等調整前四半期純利益	28,537	22,414
法人税等	9,262	7,915
四半期純利益	19,275	14,498
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△65	△227
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,340	14,726

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	19,275	14,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,639	△2,248
為替換算調整勘定	△605	944
退職給付に係る調整額	271	249
その他の包括利益合計	9,305	△1,053
四半期包括利益	28,581	13,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,715	13,696
非支配株主に係る四半期包括利益	△134	△251

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用算定方法)

税金費用の算定については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間より、株式会社フジクラエンジニアリング(企業結合後の名称は株式会社FEN)の発行済株式の全てを取得したため、連結の範囲に含めています。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

これにより、一定の期間にわたり充足される履行義務について、履行義務の進捗度を合理的に見積ることができる場合は、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識し(進捗度の見積りは原価比例法)、進捗度を合理的に見積ることができないが、当該履行義務を充足する際に発生する費用を回収することが見込まれる場合は、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積ることができる時まで、原価回収基準を適用しています。

また、契約における取引開始日から、完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約は、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はなく、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において独立掲記していた「営業外費用」の「為替差損」は金額が零のため、当第3四半期連結累計期間においては「営業外費用」の「その他」に含めて表示しています。また、前第3四半期連結累計期間において「営業外費用」の「その他」に含めていた「撤去費用」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間においては「営業外費用」の「撤去費用」として独立掲記しています。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「為替差損」に表示していた255百万円及び「その他」に表示していた653百万円は、「営業外費用」の「撤去費用」92百万円及び「その他」817百万円として組み替えています。

前第3四半期連結累計期間において独立掲記していた「特別損失」の「会員権評価損」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間においては「特別損失」の「その他」に含めて表示しています。また、前第3四半期連結累計期間において「特別損失」の「その他」に含めていた「投資有価証券評価損」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間においては「特別損失」の「投資有価証券評価損」として独立掲記しています。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「特別損失」の「会員権評価損」に表示していた16百万円及び「その他」に表示していた16百万円は、「特別損失」の「投資有価証券評価損」11百万円及び「その他」21百万円として組み替えています。

3. (参考) 個別財務諸表  
 (1) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	16,497	16,903
受取手形	1,882	1,683
電子記録債権	23,715	16,842
完成工事未収入金	158,411	131,212
有価証券	136,409	127,604
未成工事支出金	15,946	26,319
材料貯蔵品	1,505	1,690
預け金	20,000	10,000
その他	4,055	2,731
貸倒引当金	△661	△638
流動資産合計	377,763	334,348
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	86,166	86,810
機械・運搬具	23,547	24,771
工具器具・備品	9,683	9,611
土地	55,900	55,855
建設仮勘定	144	760
減価償却累計額	△89,389	△90,972
有形固定資産合計	86,054	86,837
無形固定資産		
借地権	116	116
電話加入権	136	136
ソフトウェア	2,367	2,423
無形固定資産合計	2,620	2,676
投資その他の資産		
投資有価証券	126,791	124,065
関係会社株式	9,366	15,499
関係会社出資金	3,267	3,267
長期預け金	—	10,000
長期貸付金	108	106
関係会社長期貸付金	10,537	10,613
破産更生債権等	—	9
長期前払費用	90	75
前払年金費用	1,627	2,000
その他	3,364	3,270
貸倒引当金	△798	△778
投資その他の資産合計	154,355	168,130
固定資産合計	243,030	257,643
資産合計	620,793	591,992

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,470	1,900
工事未払金	62,859	44,520
短期借入金	14,760	16,060
未払金	10,700	8,504
未払費用	15,821	7,056
未払法人税等	11,136	5,418
未成工事受入金	13,200	16,010
工事損失引当金	1,483	2,055
完成工事補償引当金	256	320
役員賞与引当金	81	—
その他	10,466	4,909
流動負債合計	142,235	106,755
固定負債		
繰延税金負債	5,890	4,968
退職給付引当金	16,504	16,827
その他	1,140	1,076
固定負債合計	23,534	22,872
負債合計	165,770	129,627
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,411	26,411
資本剰余金		
資本準備金	29,657	29,657
資本剰余金合計	29,657	29,657
利益剰余金		
利益準備金	6,602	6,602
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	326	326
別途積立金	313,400	313,400
繰越利益剰余金	37,092	46,476
利益剰余金合計	357,421	366,806
自己株式	△307	△310
株主資本合計	413,182	422,564
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,840	39,799
評価・換算差額等合計	41,840	39,799
純資産合計	455,023	462,364
負債純資産合計	620,793	591,992

(2) 四半期個別損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
完成工事高	327,671	328,551
完成工事原価	271,041	273,908
完成工事総利益	56,629	54,642
販売費及び一般管理費	34,245	35,217
営業利益	22,383	19,424
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,996	3,860
その他	257	381
営業外収益合計	4,253	4,242
営業外費用		
支払利息	143	106
その他	824	304
営業外費用合計	968	411
経常利益	25,668	23,256
特別利益	2,727	701
特別損失	62	102
税引前四半期純利益	28,333	23,854
法人税等	8,414	6,989
四半期純利益	19,918	16,865

(注) 開示した四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

4. (参考) 個別業績の概要

(1) 2022年3月期第3四半期の個別業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

①個別経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	328,551	0.3	19,424	△13.2	23,256	△9.4	16,865	△15.3
2021年3月期第3四半期	327,671	△3.5	22,383	5.4	25,668	△0.4	19,918	3.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	82.29	—
2021年3月期第3四半期	96.06	—

②個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	591,992	462,364	78.1	2,256.04
2021年3月期	620,793	455,023	73.3	2,220.21

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 462,364百万円 2021年3月期 455,023百万円

(2) 受注工事高、完成工事高及び手持工事高

(単位：百万円)

項目	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減(△)
	金額	%	金額	%	
期首手持工事高	361,521		382,038		20,516
期中受注工事高	382,721		412,464		29,742
合計	744,243		794,502		50,259
内完成工事高	327,671		328,551		879
差引手持工事高	416,571		465,951		49,379

(3) 得意先別受注工事高及び完成工事高

①受注工事高

(単位：百万円)

得意先	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
関西電力(株)	51,481	13.5	55,035	13.3	3,553	6.9
関西電力グループ	13,787	3.6	17,527	4.3	3,739	27.1
一般得意先	317,451	82.9	339,901	82.4	22,449	7.1
合計	382,721	100.0	412,464	100.0	29,742	7.8

②完成工事高

(単位：百万円)

得意先	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
関西電力(株)	51,249	15.7	52,160	15.9	910	1.8
関西電力グループ	11,896	3.6	16,174	4.9	4,278	36.0
一般得意先	264,524	80.7	260,215	79.2	△4,308	△1.6
合計	327,671	100.0	328,551	100.0	879	0.3

(4) 工事種別受注工事高及び完成工事高

①受注工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	46,769	12.2	50,797	12.3	4,028	8.6
一般電気工事	246,536	64.4	261,164	63.3	14,628	5.9
情報通信工事	43,146	11.3	47,864	11.6	4,718	10.9
環境関連工事	28,435	7.4	36,599	8.9	8,163	28.7
電力その他工事	17,834	4.7	16,037	3.9	△1,796	△10.1
合計	382,721	100.0	412,464	100.0	29,742	7.8

②完成工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	45,223	13.8	46,819	14.3	1,596	3.5
一般電気工事	203,943	62.2	203,828	62.0	△115	△0.1
情報通信工事	33,533	10.2	35,493	10.8	1,960	5.8
環境関連工事	25,416	7.8	24,532	7.5	△884	△3.5
電力その他工事	19,553	6.0	17,876	5.4	△1,676	△8.6
合計	327,671	100.0	328,551	100.0	879	0.3

(5) 工事種別手持工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第3四半期末 (2020年12月31日)		当第3四半期末 (2021年12月31日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	11,146	2.7	13,630	2.9	2,483	22.3
一般電気工事	315,497	75.7	343,737	73.8	28,240	9.0
情報通信工事	25,253	6.0	28,984	6.2	3,731	14.8
環境関連工事	29,405	7.1	41,251	8.9	11,846	40.3
電力その他工事	35,270	8.5	38,347	8.2	3,076	8.7
合計	416,571	100.0	465,951	100.0	49,379	11.9

(6) 2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)受注工事高及び完成工事高予想

①得意先別

(単位:百万円)

得意先	受注工事高		完成工事高	
	金額	%	金額	%
関西電力(株)	71,500	13.7	71,000	14.9
関西電力グループ	18,500	3.6	18,000	3.8
一般得意先	430,000	82.7	386,000	81.3
合計	520,000	100.0	475,000	100.0

②工事種別

(単位:百万円)

工事種別	受注工事高		完成工事高	
	金額	%	金額	%
配電工事	67,000	12.9	64,000	13.5
一般電気工事	324,000	62.3	297,000	62.5
情報通信工事	58,000	11.1	53,000	11.1
環境関連工事	41,000	7.9	35,000	7.4
電力その他工事	30,000	5.8	26,000	5.5
合計	520,000	100.0	475,000	100.0

(注) 1. (3)、(6)の関西電力(株)には2020年度より関西電力送配電(株)を含んでいます。

2. (6)の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上